

# 高崎経済大学論集

THE ECONOMIC JOURNAL OF  
TAKASAKI CITY UNIVERSITY OF ECONOMICS

第66巻 第4号

王雪准教授追悼号

2024(令和6)年3月

高崎経済大学経済学会



王 雪 淮教授

# 王雪先生追悼号に寄せて

高崎経済大学経済学会長 矢野修一

2023年1月、私たちは、大切な仲間である王雪先生の訃報に接し、まさに慟哭いたしました。2020年4月、専任講師として本学ご着任、翌年4月、准教授に昇任され、これから本格的に研究・教育両面でご活躍いただきたいと願っていた、まさにその時、早逝されました。本当に残念で仕方がありません。わが子を喪われたご両親の心中は察するに余りあります。

王先生は、中国から立命館アジア太平洋大学に留学され、大学院修士課程を立命館大学で、博士課程を東北大学で修了なさいました。インバウンド・オープン・イノベーションが日本の製造業における企業パフォーマンスに与える影響について、大規模アンケートの統計分析を行い、2018年3月には、東北大学から博士（工学）の学位を授与されました。東北大学大学院修了時には、工学研究科技術社会システム専攻長賞を受賞しておられます。

王先生は、大学院生時代から日本経営システム学会で次々と成果を発表され、学生研究発表優秀賞も受賞されました。日本ベンチャー学会や日本MOT学会のメンバーにも名を連ね、近年では「イノベーション力」という観点から、中国とアメリカのユニコーン企業を比較する研究を構想されていました。

本学では経済学部国際学科に所属し、国際経営戦略論、国際物流論のほか、ゼミや原書講読を担当されました。ロボティクス、リモート・インテリジェンスの発展によって、瞬時・低コストでの人のバーチャルな移動が可能となり、姿を大きく変えつつあるグローバル・ビジネスの実相を学生に伝えるべく、熱心に講義を続けられました。

ゼミではPBL (Problem Based Learning) の手法を採り入れ、所属学生の能力を理論・実践の両面から育成することを目指されました。観光がお好きで、ドイツ、オーストラリア、イギリス、ロシアなどを回り「地球の歩き方」も身につけてこられましたので、王ゼミの海外研修は非常に充実したものになるはずでした。

こうしたなか、王先生は、突然体調を崩されました。たまたま学内でお目にかかる、歩くのもつらそうな時もありましたが、それでも元気な声でご挨拶いただきました。お亡くなりになったことをいまだに現実として受けとめきれずにおりますが、私たち一同は、学問研究の発展と次世代の育成に向けて、王先生の分まで尽力する所存です。高崎経済大学経済学会は、追悼の意を表すべく、『高崎経済大学論集』第66巻第4号を王先生に捧げることといたします。

大学院時代の王先生を指導し、その後も共同研究者として支えてこられた長平彰夫先生と中塚信雄先生には、お忙しいにもかかわらず、本号に寄稿いただきました。学会長として、ここであらためて感謝申し上げます。

最後になりましたが、王雪先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

# 王雪老师追悼纪念刊之发刊词

高崎经济大学经济学会会长 矢野修一

2023年1月,接到亲爱的同事王雪老师去世的消息,我们深感悲痛。2020年4月,王雪老师被任命为本校的全职讲师,并于次年4月,晋升为副教授。本应正式在科研和教学工作上大展身手的她,却突然英年早逝。我们对此感到十分的遗憾,想必王雪老师的父母也异常地悲痛万分。

王老师从中国来到立命馆亚洲太平洋大学学习,并在立命馆大学获得硕士学位,在东北大学获得博士学位。王老师通过对内向开放式创新对日本制造业的企业绩效的影响进行大规模问卷调查与统计分析,于2018年3月获得了东北大学工学博士学位。同时在从东北大学大学院毕业时,她获得了工学研究科技术与社会系统专业院长奖。

在还是大学院生的时候起,王教授就陆续在日本经营系统学会发表研究成果,并获得了学生研究成果优秀奖。她还是日本新兴产业学会和日本MOT学会的成员。最近,她也试图从“创新力”的角度比较中美的独角兽公司。

在本校,王老师所属于经济学部国际学科,担任国际经营战略论、国际物流论、研讨小组课和外文原著阅读等课。随着机器人技术和远程智能的发展,人的虚拟移动几乎可以瞬间、低成本地实现,全球商业正在发生巨大变化。王老师总是热情地讲课,向学生传达全球商业的实际情况。

在研讨小组课上,王老师采用了PBL(Problem Based Learning)的方法,旨在从理论和实践的两个方面提高学生的能力。喜欢观光的王老师去过德国、澳大利亚、英国、俄罗斯等国家,应该十分了解如何走遍全球,所以我想王老师的研讨小组课的海外进修也应该是非常充实的。

然而就在这时,王老师突然病倒了。有时我在校园里看到她,虽然连走路都很困难,但依然开朗地向我打招呼。直到现在我们也还没有完全接受她逝世的现实,但我们会带上王老师的份,一起为发展学术研究和培养下一代尽最大努力。高崎经济大学经济学会谨将《高崎经济大学论集》第66卷第4期献给王老师,以表达哀悼。

长平昭夫教授和中冢信夫教授在王老师就读大学院期间就指导了她的研究,并且之后也作为共同研究者一直支持她,尽管他们日程繁忙,但仍为本期撰写了文章。作为会长,我在此再次对二位表示感谢。

最后,向王雪老师表示衷心的哀悼。

# 王雪准教授をしのぶ

高崎経済大学 学長 水 口 剛

王雪准教授のご逝去を悼み、深く哀悼の意を表します。

王先生は立命館大学大学院で修士号を、東北大学大学院で博士号を取得された後、崇城大学助教を経て、2020年に講師として本学に着任されました。1年後の2021年には准教授に昇任されています。着任後1年という短期間でのご昇任は、王先生の研究・教育に対する熱意と、それまでのご実績が経済学部教授会で高く評価された結果であると思います。

実際、王先生はいつもたいへん積極的で、熱心に研究されているご様子でした。時々、学長室にも来ていただきましたが、常に明るく前向きな姿勢が印象的でした。中国が世界第2位の経済圏へと成長する中、中国ユニコーン企業におけるイノベーション力というとても重要なテーマで研究されており、多くの研究業績が期待されただけに、こんなに早く逝かれたことは本当に残念です。

教育の面でも、英語で講義されるInnovation and Entrepreneurshipや、国際経営戦略論という重要な科目をご担当頂きました。ゼミでは国際経営とイノベーションをテーマに企業訪問や工場見学を構想されていたようです。短い期間でしたが、きっと学生たちに強い印象を残したものと思います。

私は20代の頃に1年間、中国山東省の済南大学に語学留学しました。今では中国語はほとんど話せないのですが、その当時中国の人たちがとても親切にしてくれたことは、今でも忘れません。人と人とのつながりが、国と国との理解を育むのではないかという気がします。若くして日本に渡り、この異国の地で研究を続けてこられた王先生は本当に立派だと思います。そしてその王先生の教えを受けた学生たちも、王先生とのつながりの中で多くのことを学び、いろいろなことを考えたと思います。それは彼らの今後の人生の糧になるに違いありません。その意味で王先生は本学でとても大きな役割を果たしたと思います。本当にありがとうございました。謹んでご冥福をお祈りします。

# 缅怀王雪副教授

高崎经济大学校长 水 口 刚

对王雪副教授的逝世，我表示深切哀悼。

王老师在立命馆大学大学院获得硕士学位，在东北大学大学院获得博士学位后，曾任职崇城大学助教，于2020年被任命为本校讲师，并于一年后的2021年升任副教授。到任后的她仅用了短短一年时间就升任副教授，是王老师对研究、教学的热忱的体现，也能看出经济学部教授会对王老师所获得的成果的高度评价。

而实际上，王老师也总是非常积极、热心地进行着研究。有时候王老师也会到校长室来，她那总是开朗而又积极的样子给我留下了深刻的印象。

在中国成长为世界第二大经济圈的背景下，王老师研究中国独角兽企业的创新能力这一非常重要的课题，也因此原本非常期待王老师能有很多的研究成果，她的过早的逝世真令人非常惋惜。

在教学方面，王老师担任了用英语授课的 Innovation and Entrepreneurship 和国际经营战略论这两门重要的科目。王老师的研讨小组课也以国际经营和创新为课题，计划进行企业访问和工厂参观。虽然时间很短，但我想王老师的课一定给学生们留下了深刻的印象。

我在20多岁的时候，在中国山东省的济南大学留学了一年。虽然现在已经不太会说汉语，但我至今仍不会忘记当时中国人对我很亲切。我觉得也许有人与人之间的交流，才能培养国与国之间的相互理解。王老师在年轻的时候来到日本，并在这个异国他乡不断地努力研究，真的很了不起。我想王老师教导的学生们也在和王老师的学习与交流中学到了很多东西，学会了各种思考。毋庸置疑，这一定会成为他们今后人生的精神食粮。从这个意义上说王老师在对本校起到了重要的作用。

衷心感谢王老师。谨祈祷故人安息。

# 王雪先生を偲ぶ

野 崎 謙 二

2023年2月、王雪先生が病氣療養中の中国で1月にお亡くなりになったとの報に接したことは、非常にショックで、私達が失ったことの大きさを痛感した出来事でした。今般、王雪先生の追悼号が発刊されるにあたり、明るく学生想いであった先生を偲び、筆を取らせていただきます。

王先生が本学に在籍されたのは2020年4月から3年弱と非常に短いものでした。しかもご着任当初は新型コロナウイルス感染拡大に伴い大学も閉鎖され、授業も原則オンラインというタイミングで教職員同士の対面での接触が難しい状況でした。また王先生ご自身が療養のため休まれていた期間もあったことから、王先生との交流はかなり限定的であったと思います。私は国際学科に所属された王先生の当初の学科長、2年目からは学部長の立場であったことから、他の教職員の方々よりは多く接する機会があったと思います。王先生が明るく積極的で、何よりも学生のことを想って教育活動に当たられていたことをご紹介したいと思います。

パンデミックは本学にも多くの困難をもたらしました。その中でも国際学科への影響、特に専門教育科目の2群への対応が喫緊の課題でした。2群科目は、英語による専門科目の授業と海外語学研修や海外フィールドワークなど実際に海外で体験することに対して単位を認定する科目から構成されています。海外への渡航がかなわない状況でオンラインでの活動を認定するなど対応を行いましたが、明らかに不十分でした。そこで王先生は英語が堪能で、実際に英文の論文も数多く発表されていたことから、王先生に英語による授業を開講いただけないかご相談しました。王先生からは二つ返事でご快諾をいただきました。それどころか、準備期間も考えると2022年度開設が適切かと申し上げたのに対して、「少しでも早い方が良いから2021年度からやりましょう」と逆提案をいただきました。2020年10月の学科会議で「Innovation and Entrepreneurship」を2群科目として開設することが承認され、同月の教授会でカリキュラムとして認めていただきました。王先生の高い能力と大学教育への熱意があってこのことと今も感謝しております。実際同科目が開講されると、初年度の2021年は履修者数が60人を超えました。新設科目であることや学生の時間割の都合などを考慮すると、国際学科の学年定員80人に対して非常に多くの学生が集まりました。いかに王先生に国際学科の学生が救われたかを示しています。私のゼミ生にも、この科目のおかげで2群の要件を充たすことができ助かったし、何よりも授業が面白くなったと話していた学生がいたのを記憶しています。

私と王先生との関係で言えば、2023年3月に卒業した王ゼミ1期生の演習を一部担当したこともありましたが、3年後期の一部と4年の後期の期間です。本稿の執筆に当たり、何人かの卒業生に王先生との思い出を聞いてみました。いくつかがいつまんでご紹介します（文章の表現等、多少修正した部分があります）。

「王先生は、基本学生主体で先生が補助になることを理想としていました。」

「コロナ禍でゼミがスタートしたため、行事らしい行事はほとんどなく、オンラインとハイブリッドにより大学で1日だけ行ったゼミ合宿くらいです。考えてみれば先生と一緒に食事をしたこともなかったように思います。もっと先生といろんなお話をしてみたかったです、わずかな関係性からでも見えてくるのは、先生の愛情深さなのかなと思います。」

「演習は毎回王先生の雑談があって予定通り進まないのが日常でした。私はこの雑談が面白くて自分の知らない新しい情報、国際経営・マーケティングに関する話題や地元中国の話で新たな知識を得ていました。」

「パワポの見やすさや作り方にすごくこだわっていて他のどのゼミよりも資料作成のスキルがつくゼミでした。」

「王先生は経済学部のプレゼンテーション大会を楽しみにしていました。」

「ストイックさ故に厳しく聞こえるコメントも多い先生だったかなと思います。ゼミ生のことはとても大切に見守ってくれていたと思います。」

「約2年間王ゼミで活動できて多く学ばせていただいて本当に良かったと感じています。」

「王ゼミがこんなにも早く終わってしまうのは残念で仕方ありませんが、数少ないゼミ生が、たまにでも王先生の教えを思い返せば、そこで先生は生き続けているのかなと思います。」

実は私が3年生の演習をお手伝いしていた時は、王先生もオンラインで演習に参加しておられました。そこでの学生とのやり取りを見ていた記憶から、これらのコメントには王先生らしさを表しているものが多いと感じます。特に印象に残っているのは、コメントにもあったプレゼンテーション大会について、ご自身が体調不良で最後まで直接指導できなかったことを涙ながらに悔しがっていたことでした。学生に対して全力で向き合っていた様子が伺えました。正直その時は、直ぐに元気になられて厳しくも楽しい指導が行われるものと考えていました。実際、彼らが4年生になった時には演習にも復帰されてひと安心していたのですが、残念でなりません。

短期間ではありましたが、貴重な貢献をいただいた王先生への感謝の気持ちはつきません。卒業生のコメントにあったように、王先生の貢献を思い起こし、受け継いでいくことが残された者としてできること、しなければならぬことだと思います。王雪先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

# 缅怀王雪老师

野 崎 謙 二

2023年2月,我们收到了正在因病疗养中的王雪老师于1月在中国病逝的消息。收到这个消息,我感到十分的震惊,同时也深刻感受到了失去王老师对我们是多么大的打击。值此王雪老师追悼纪念刊出版之际,我谨以此文悼念这位既开朗又体贴学生的老师。

王老师从2020年4月开始在我校就职,短短不到三年。而且在她上任之初,由于新冠肺炎疫情的蔓延,大学闭校,授课也基本上变成线上授课。因此,教职员工也难有机会见面。此外,由于王老师因治疗而休息了一段时间,所以与王老师的交流也相当有限。不过,王老师来到本校的第一年,我担任了她所在的国际学科的学科长,以及从第二年开始,我就担任了经济学部的学部长,所以我想我与王老师的交流要比其他教职工多一些。在此我想向大家介绍性格开朗,积极主动的王老师的一些点滴,尤其是她在教学中为学生着想的一些事迹。

在疫情期间,我校面临了诸多困难。其中,对国际学科的影响很大,而当时最紧迫的问题就是如何处理专业教育科目的第二科目群的课程。第二科目群是由用英文授课的专业课和对海外语言研修以及海外实地调查等海外经验进行学分认证的科目构成的。在对于并不知道能否出国的状况下,学校对于在线的活动也进行了认证,但这显然是不够的。由于王老师英语流利,并且也用英文发表了许多论文,于是我便和王老师商量是否可以新开讲英语授课的课程。王老师不仅欣然同意了开讲,还在我说考虑到准备的时间,应该在2022年度开设比较合适的时候,王老师却建议我说:“还是越早越好,从2021年度就开设吧。”在2020年10月的学科会上,“Innovation and Entrepreneurship”被批准作为第二科目群的课程开课,并在同月的教授会上被批准编入课程体系。这正因为王老师的高能力和对大学教育的热情才得以实现,直到现在,我依然十分的感激。事实上,在课程开讲当初,即在开设第一年的2021年,选择这门课的学生便超过了60人。考虑到是新设的课程以及学生的时间分配,相对于国际学科的一个年级80人的学生数来说,选择这门课的学生还是很多的。显然王老师的课帮助了很多国际学科的学生。我的研讨小组的学生也因为有了这节课才达到了第二科目群的要求。更为重要的是,我记得学生们说这门课很有趣,也学到了许多有用的知识。

说起我与王老师的关系,在于2023年3月毕业的王老师的研讨小组一期生的课中,我负责了他们大三上学期和大四下学期的一部分课程。在写这篇文章的时候我询问了一些毕业生对王老师的回忆。在此选取了一些向大家介绍(语句措辞

等有些部分略经笔者修改)。

“王老师的理想是基本以学生为主，以老师为辅。”

“由于研讨小组课是在新冠疫情期间开始的，几乎没有任何实际交流的机会，因为线上线下综合授课的方式，唯一的机会就是在学校以“一天游”方式进行的研讨小组的“合宿”。回想起来却连一顿饭也没和老师吃过。我本来想和老师多进行交流的，但从就算并不多的交流当中，我也能感受到老师对学生的非常多的关心。

“因王老师的闲谈而无法按计划进行已经成为了课上的家常便饭。不过我觉得这些闲谈十分的有趣，可以知道很多自己不知道的新消息，并且获得了许多和国际经营以及市场营销相关的知识，甚至还可以了解老师的家乡中国。

“王老师十分注重如何制作 ppt 资料以及怎样使 ppt 资料看起来简单易懂。王老师的研讨小组课比任何的研讨小组课都磨练了我的资料制作的水平。”

“王老师曾很期待经济学院的演讲发表比赛。”

“因为老师是十分严格的人，所以老师的评论时常听起来十分的严厉，但我认为老师其实是十分的关心研讨小组的学生的。

“参加了王老师的研讨小组大约两年，学到了很多东西，真的觉得能够参加老师的小组真好。”

“王老师的研讨小组课结束得这么快，真的很遗憾。研讨小组的学生虽然不多，但我想当我们不时回顾王老师的教诲的时候，她便活在我们的心里。”

其实，在我代课三年级学生的演习课时，王老师也线上参加了课程。回想起王老师与学生们的互动，我觉得以上的这些回忆都贴切地表达了王老师的个性。给我留下特别深刻印象的是，由于王老师的健康状况不佳，无法坚持指导演讲发表比赛到最后，她为此流下了不甘的眼泪。看得出来，她尽了她的最大的努力指导着学生们。老实说，当时我以为王老师会立即恢复，充满活力地对学生们进行严格但又快乐的指导。事实上，学生们进入大四的那年，看到王老师重返演习课时，我稍稍而松了一口气，但没想到会是如此令人遗憾。

虽然时间很短，但我对王老师的宝贵贡献表示无尽的感谢。正如毕业生们提到的一样，铭记王老师的贡献并将其传承下去，是我们作为后继者可以做，也必须做的事情。最后向王雪老师表示最深切的哀悼。

# 王雪さんの思い出

中 塚 信 雄

王雪さんご逝去の報に悼み入り少しばかりの思い出話を綴ります。

## ・立命館大学技術経営での出会いの始め

王雪さんとの出会いは技術経営修士課程でした。まだ滋賀県草津キャンパスの頃、講義終了後には必ず質問をし、議論していました。当時一番熱心な学生さんでした。茨木キャンパスでも同様に頑張っていました。

## ・お人柄

とても日本が好きでずっと日本で働き暮らしたいとおっしゃっていました。食事はやはり故郷の物が良いのか自炊して好みの食事を作っていたようです。健康には注意を払っていたように思えます。物腰は優しく対応されていましたが、芯はしっかりしていて論理的に考え自らの結論を常に出していました。

## ・優れた学業

修士課程の成績は優秀で論理展開などは鋭い考察の元に着実に論文作成をしていました。日本語の使い方については細かい部分が不明なところがあり、添削を求めてきました。詳細にわたって添削し説明したことを記憶しています。本人も忠実に日本語について学び次第に正確な日本語を使いこなせるようになっていきました。なお、修士の副主査には当時東北大学の長平先生にご指導いただき統計処理など益々レベルを上げることができました。ご縁があって東北大学の博士課程に進学することも後々できましたが、これはご本人の希望によるものでした。

## ・家族共々のお付き合い

博士課程やその後就職してからもよくメールを頂き仙台や京都などで会食をしました。論文の話や身の回りの話などをし、アドバイスをよく聞いてもらいました。時々お母様がお見えになりお正月には三人で会食することもありました。帰国された時はよく茶器やお茶などの手土産を頂き、こちらからも清水焼の茶器をプレゼントしたことを覚えております。とても喜んでいらっしやったので、学業や仕事の疲れを癒されていたのではないかと思います。

## ・お別れの言葉

王雪さんの訃報を頂いた時は本当に驚き悲しく思いました。これから益々ご活躍される方であり、とても残念でなりません。心からお悔やみ申し上げご冥福をお祈りいたします。合掌

# 回忆王雪

中 塚 信 雄

惊悉王雪骤然离世，谨以此文以回忆王雪老师，以表深切哀悼。

## · 在立命馆大学技术经营科的相遇

我与王雪的相识是在她攻读技术经营的硕士课程的时候。当时还在滋贺的草津校区，她总是在课后提出问题，与我进行讨论，是当时最好学的学生。在转至茨城校区后，她也依然保持着这份认真与努力。

## · 王雪的性格

王雪说过她非常喜欢日本，希望能在日本长期工作和生活。也许是喜欢家乡菜的缘故，听说她都自己做喜欢的饭菜。想必她也应该是十分注意着自己的健康。虽然她的性格温和，但她同时很有主见，总是有逻辑地思考并有自己的见解。

## · 卓越的学术

王雪在硕士期间中的成绩非常好，她用她敏锐的思绪踏实地撰写了硕士论文。关于日语写作的细节若有不清楚的地方，会向我寻求修改指正。我记得我详细地指出了问题并进行了指正，她也认真的根据我的提议进行修改与学习，从而也渐渐能够准确地使用日语。此外，在硕士论文副指导东北大学的长平教授的指导下，她也进一步提高了统计处理水平。虽然之后她也有缘在东北大学攻读博士学位是后话了，不过这也正是她本人的所期望的。

## · 同王老师家人的交流

在她就读博士期间以及就职之后，我也经常收到她的邮件，并在仙台和京都等地一起吃饭。我们经常谈论论文以及各自的近况，她也会认真地听取我给她的建议。她的母亲有时也会过来，还曾经三个人一起吃饭，度过了元旦。我还记得每当她回国的时候，总是会给我带茶具和茶叶等礼物，我也送了清水烧茶具作为回礼。她收到时很开心，也许茶具为她缓解一些从学习和工作的疲劳吧。

## · 告别词

当我收到王雪去世的消息时，我真的很惊讶，也很伤心。对于前途无量的她的骤然离世，我深表遗憾。我谨表示诚挚的哀悼，祈祷故人安息。合掌祈福

# 王雪准教授 経歴および主要業績

## 略 歴

1991年 7月	中国・南京市生まれ
2009年 6月	中国・南京外国語学校仙林分校 高校 卒業
2013年 9月	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部国際経営学科 卒業
2015年 9月	立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 テクノロジー・マネジメント専攻博士前期課程 修了
2018年 3月	東北大学大学院 工学研究科 技術社会システム専攻博士後期課程 修了
2018年 3月27日	東北大学 博士（工学）
2018年 4月～2020年 3月	崇城大学 総合教育センター 助教
2020年 4月～2021年 3月	高崎経済大学 経済学部 専任講師
2021年 4月～2023年 1月	高崎経済大学 経済学部 准教授
2023年 1月	逝去

## 受賞歴

2017年 7月 9日	日本経営システム学会第58回全国研究発表会学生研究発表 優秀賞
2018年 3月27日	東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻長賞

## 所属学会

2015年 4月～2023年 1月	日本経営システム学会
2018年10月～2023年 1月	日本ベンチャー学会
2018年10月～2023年 1月	日本MOT学会

## 学術論文

〈単著〉

◎修士論文

王雪「日本の健康・予防企業におけるビジネスモデルの研究—ICT技術の活用を中心に—」立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科, 2015年。

◎博士論文

Xue Wang, The Effect of Inbound Open Innovation on Firm Performance in Japanese Manufacturing Firms: Comparative Study between Research Center and

Business Unit. (東北大学)

- ◎Xue Wang, “The Effect of Inbound Open Innovation on Firm Performance in Japanese Manufacturing Firms: Comparative Study between Research Center and Business Unit”, *International Journal of Innovation Management*, Vol. 22, No.7, 2018.
- ◎Xue Wang, “R&D Strategies in Multinational Enterprises from 2010 to 2020: A Literature Review”, *International Journal of Business and Management*, Vol. 8, No. 10, 2020.

#### 〈共著〉

- ◎Xue Wang and Akio Nagahira, “Effects of Japanese Firms Conceptual Model on Open Innovation and Performance”, *International Journal of Business and Management*, Vol. 5, No. 3, 2017.
- ◎Xue Wang and Akio Nagahira, “Conceptual Modeling for User Innovation and NPD Project Success in Japan Firms”, *International Journal of Business and Management*, Vol. 5, No. 4, 2017.
- ◎Xue Wang and Akio Nagahira, “The Impact of User Innovation on New Product Development Project Success in Japanese Firms, Comparative Study between B 2 B and B 2 C Projects”, *International Journal of Business and Management*, Vol. 5, No. 7, 2017.

#### 学会発表

- ◎王雪・中塚信雄・長平彰夫「健康機器業界におけるビジネスモデルの研究」日本経営システム学会第54回（2015年春季）全国研究発表大会、共愛学園前橋国際大学。
- ◎王雪・中塚信雄・長平彰夫「日本の健康・予防企業におけるビジネスモデルの研究—ICT技術の活用を中心—」日本経営システム学会第55回（2015年秋季）全国研究発表大会、北九州国際会議場。
- ◎王雪・中塚信雄・長平彰夫「Study on Effect of Inbound Open Innovation on Firm Performance in Japan」日本経営システム学会第58回（2017年春季）全国研究発表大会、東京経済大学国分寺キャンパス。
- ◎Xue Wang and Akio Nagahira, “Effect of Inbound Open Innovation on Firm Performance in Japan”, at International Conference on Business and Information, 2017-Summer, International Conference Center Hiroshima.
- ◎王雪「Research on Business Model Design and Innovation in Unicorn Firms」日本経営システム学会第65回（2020年秋季）全国研究発表大会、Zoomによるオンライン会議形式。

# 高崎経済大学論集

第66巻 第4号

2024（令和6）年3月

王雪准教授追悼号

## 目 次

王雪先生追悼号に寄せて……………	矢野修一 (i)
王雪准教授をしのぶ……………	水口剛 (iii)
王雪先生を偲ぶ……………	野崎謙二 (v)
王雪さんの思い出……………	中塚信雄 (ix)

### 〔特別寄稿〕

日本の隠れたチャンピオン企業の新製品開発における 成功要因に関する研究……………	長平彰夫 (201)
ヨーロッパ共通参照枠草案 (DCFR) における フランチャイズ契約解消に関する一考察……………	谷口聡 (231)
EUにおける記憶の政治：ホロコーストの記憶とロマの承認をめぐる ……	土谷岳史 (253)
凌濛初「二拍」と『亘史』—『拍案驚奇』巻二を中心に—……………	笠見弥生 (277)
The China factor in Central Asia through its Belt and Road Initiative ……………	Nurgaliyeva Lyailya (291)

THE ECONOMIC JOURNAL  
OF  
TAKASAKI CITY UNIVERSITY OF ECONOMICS

Vol.66 No.4 March 2024

Special Issue in Memory of Assoc. prof. Xue Wang

**Contents**

Memorial Addresses .....	YANO Shuichi ( i )
	MIZUGUCHI Takeshi ( iii )
	NOZAKI Kenji ( v )
	NAKATSUKA Nobuo ( ix )

**Special Contributions**

Study on Key Factors for Success in the New Product Development of Japanese Hidden Champion Companies .....	NAGAHIRA Akio (201)
A Study on the Termination of Franchise Agreement in Europa Draft Common Frame of Reference (DCFR) .....	TANIGUCHI Satoshi (231)
Memory Politics in the European Union: Holocaust Memory and the Recognition of Roma .....	TSUCHIYA Takeshi (253)
Ling Mengchu's "Erpai" and "Genshi" : Focusing on "Pai'anjingqi" Vol.2 ...	KASAMI Yayoi (277)
The China factor in Central Asia through its Belt and Road Initiative .....	Nurgaliyeva Lyailya (291)

[論 文]

上場企業の営業活動によるキャッシュ・フロー使用に関する実証分析  
－有価証券報告書からのパネル・データに基づく検証－…………… 梅 田 宙  
森 田 稔 (307)

イギリスにおけるLimited Liability Partnership (LLP) の形成と発展…… 沈 律 (327)

[研究ノート]

適正技術論とイノベーション論の接合に関する一試論…………… 黒 崎 龍 悟 (349)

[書 評]

峯陽一著『2100年の世界地図—アフラシアの時代』(岩波新書、2019年)… 矢 野 修 一 (363)

[講演抄録]

「地域通貨と域内循環」…………… 西 部 忠 (371)

[学会記事]

令和5年度学生懸賞論文受賞者…………… (375)

学会主要記事…………… (377)

## Articles

- What Do Japanese Companies Allocate Their Operating Cash Flow to?  
An Empirical Analysis of Panel Data ..... UMEDA Hiroshi  
MORITA Minoru (307)
- The Formation and Development of  
Limited Liability Partnerships (LLP) in the UK ..... SHIM, Eul (327)

## Research Notes

- Articulation of Appropriate Technology Theory and  
Innovation Theories ..... KUROSAKI Ryugo (349)

## Book Review

- MINE, Yoichi, *A World Map in 2100: The Age of "Afrasia"* ..... YANO Shuichi (363)

## Lecture Abstracts

- Community Currency and Local Circulation ..... NISHIBE Makoto (371)

## Editors' Report

- The Society of Economics Essay Contest 2023 ..... (375)
- Editors' Report ..... (377)

本号執筆者（掲載順）

長 平 彰 夫	立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科教授／東北大学名誉教授
谷 口 聡	高崎経済大学経済学部教授
土 谷 岳 史	高崎経済大学経済学部准教授
Nurgaliyeva Lyailya	高崎経済大学経済学部准教授
梅 田 宙	高崎経済大学経済学部准教授
森 田 稔	高崎経済大学地域政策学部准教授
沈 律	高崎経済大学経済学部専任講師
黒 崎 龍 悟	高崎経済大学経済学部准教授
矢 野 修 一	高崎経済大学経済学部教授
西 部 忠	専修大学経済学部教授／北海道大学名誉教授

本論文集に掲載の論文、研究ノート（学会依頼原稿、書評、講演抄録、学会記事などをのぞく）については、第42巻第1号から当学会において審査（レフリー）を行っております。本論文集に掲載されている著作物の著作権は、本学会に帰属します。第65巻から一つの巻で通しのページ番号になりました。